

産業建設委員会視察報告書

愛媛県内子フレッシュパークからり

内子町は愛媛県のほぼ中央に位置し一級河川、清流小田川が流れている川には吊り橋があり秋の紅葉で一段と楽しさが増す一角であった町に入ると護国の町並保存地区があり、木造と白壁の重厚な建物、歴史的レトロな建物が手づかずの自然に出会う町、内子フレッシュパークからりは農産物の直売所を始め、レストラン、パン工房、ハンバーガショップ等九施設が開業し一日中来客が途切れない楽しく過ごすことができる、直売所には町民の手作り商品が数多く販売され市場に出荷出来ない二級品など出品されていて求め易さが人気を呼んでいるようだった。

所見

それぞれの町が特色を生かした取り組みがなされている我が町は二か所の道の駅はどうかと思う検討されたい、何が必要かどうすれば集客出来るか考え再生北栄町へ議論を進めたい。

愛媛県今治市、さいさいきて屋

食糧の安全と安定供給体制を

食と農のまちづくりの取り組み、我が国の食糧自給率は非常に低く、諸外国からの農産物の市場開放要求はますます強まっている。輸入食糧の中には穀物や果物に防腐剤、殺虫剤等が混入しており国民の健康を著しく害しているのが現状である。今治市は市民に安定して安全な食糧を供給するため、必要以上の農薬や化学肥料の使用を押さえ土づくりを基本に生産技術の普及に努め、より安全な食糧の安定生産を積極的推進されている。

地産地消は地元食材を

学校給食の食材には、地元産の農産物を優先的に使用されている、今治産がなければ近隣又は県内産、地元に近いところから食材を調達するようにされた、その後平成22年からは、旬の野菜の地元産指定入札を開始、現在は、今治産の野菜が約70%を占めるようになっている。現在は23の調理場で約13,500食の供給がされている。

期待すること

地域の農林水産業者に元気になって頂きたい。

市民や子どもたちに今治の食を食べてもらい、地域の農林水産業を支えて頂きたい。

新しい地域ブランドイメージの確立、など

さいさいきて屋（直売所）

今治市にある、J Aおち今治直販開発部が運営されている

旬に富んだ野菜、果物から農を楽しみ、加工品から更に水産物、肉など

全国的にも素晴らしい直売施設であった、

隣接された様々な施設も驚きであった。

隣接地には市民農園、果樹試験場など障害者の雇用にも貢献されていた。

所見

両施設とも山陽側で人口、消費者も多く更に交通の便も良く、観光地でもある

他県からの集客が進んでいる感じ、山陰の北栄町は寂しすぎます交通の便、

人口増など厳しい状況にあるが将来への取り組みが必要ではないか。

宮本 幸美